

平成29年度標津高等学校 学校評価

1 本年度の重点目標

- (1) 学ぶ喜びを実感させ、学ぶ意欲を喚起する。
- (2) 自らを律し他者を思いやる心と行動力を育てる。
- (3) 一人一人の将来の夢や志、目標の実現を支援する。
- (4) 自他の生命を大切にし、自ら心身を鍛える態度を育てる。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
教育課程 学習指導	○ 年度当初から「授業の充実」をテーマとして教員、保護者、地域が連携した教育を進めてきた。校内研修による授業改善に取り組み、生徒の授業評価アンケートにおいて、目標の80%以上を達成したが、今後も教科における指導方法、評価方法の改善及び授業内容を充実させる必要がある。	○ 評価項目に対して、学校の達成状況、評価、それに対する改善策、取組に期待する。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の改定を見据えた研修・実践をする。 ・評価方法について、各教科が統一された基準により成績をだす。 	
生徒指導	○ 共通理解・共通実践に基づいた生徒指導に至らない面があった。しかし、交通安全や通学マナーに対する意識を徹底することができた。	○ 適正な自己評価結果であるが、具体的な改善策の下生徒の指導を行ってほしい。特に生徒の将来につながる、挨拶や礼法指導の充実を期待する。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年共通の課題について定期的に情報を共有する。 ・日常生活における挨拶及び礼法指導を徹底する。 	
進路指導	○ 概ね達成できたと判断するが、教職員が共通理解の下での、系統的な指導の一層の改善・充実が必要である。	○ 概ね適正な自己評価結果であるが、学年、分掌の連携を強化し共通理解のもと系統的な指導を行ってほしい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が自ら進路選択ができるような行事の内容や時期を精選する。 ・早期の離職を防ぐために社会人として必要な力を身につけさせる。 ・診断テスト・模擬試験等を有効に活用し、進路指導に役立てる。 ・各学年と分掌の連携強化のための定期的なミーティングを実施する。 	
公表方法	<ul style="list-style-type: none"> ・本校のWebページへの掲載 	

3 添付資料

- (1) 北海道標津高等学校 平成29年度評価アンケート（自己評価）
- (2) 北海道標津高等学校 平成29年度学校評価アンケート（教育振興会）
- (3) 北海道標津高等学校 平成29年度学校評価アンケート（保護者）